

令和6年国立市議会第2回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第2回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、くにたち中央図書館についてですが、昭和49（1974）年5月5日に開館し、令和6（2024）年で50周年を迎えました。このことを記念したイベントの一つとして、5月5日、6日に中央図書館と北市民プラザ分館で、オリジナルしおりを各日先着250名に配布いたしました。

このしおりは、友好交流都市である北秋田市の木材を使用し、国立市出身の絵本作家^{ふりや}降矢なな氏がオリジナルイラストを描き下ろしたものです。当日は市民の方々に大変ご好評いただき、両日ともに午前中には配布を完了いたしました。

今後も図書館を身近に感じていただけるよう、講演会や映画会等、様々なイベントを実施してまいります。

それでは、3月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

人権施策についてですが、3月に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」に基づく基本方針を策定いたしました。引き続き、市民や事業者に対する教育・啓発を通じ、絶えず学び続ける意識を醸成するとともに、職員に対しても、基本条例を持つ国立市の職員としての人権意識の醸成を図ってまいります。

次に、男女平等施策についてですが、新たにジェンダー平等の視点を取り入れた「第6次ジェンダー平等推進計画」を策定いたしました。

引き続き、性別、性的指向、性自認に起因する差別をなくし、多様な生き方を自らの意思で選択でき、尊重されるまちとなるよう取り組んでまいります。

次に、平和首長会議多摩地域平和ネットワーク会議についてですが、5月24日に開催した令和6（2024）年度第1回市長会議におきまして、引き続き、国立市が会長市として承認され、会議運営を行っていくこととなりました。

また、当日は平和首長会議会長である広島市の松井一實^{かずみ}市長にご出席いただきました。今後も広島市と連携を図りつつ、

多摩地域の市民同士の交流や次世代への伝承など、平和文化の振興に取り組んでまいります。

次に、行政管理部関係です。

国立市学校給食センター跡地の利活用についてですが、公共施設等の再編を見据えた暫定利用として、歳入の確保に向け、敷地の一部を民間事業者に貸し出すため、事業提案を広く求める公募型プロポーザル方式の手続を開始しました。

次に、能登半島地震に係る現地への職員派遣についてですが、東京都からの要請に基づき、4月2日から10日までの9日間と5月14日から22日までの9日間、輪島市において住家被害認定調査及び罹災証明発行業務を支援するための職員を1名ずつ派遣いたしました。

次に、健康福祉部関係です。

住民税非課税世帯に対して1世帯当たり7万円の給付金を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金についてですが、3月11日までコールセンターの開設及び申請受付を実施し、合計8,320世帯に給付金を給付しました。

次に、住民税均等割のみ課税世帯に対して1世帯当たり10万円の給付金を給付する住民税均等割のみ課税世帯対象臨時給付金についてですが、5月13日までコールセンターの開設及び申請受付を実施し、合計771世帯に給付金を給付しました。

次に、手話言語施策についてですが、5月から、市役所本庁舎の窓口におけるタブレット端末を利用したオンラインによる手話通訳サービスの運用を開始しました。これにより、手話通訳者が設置されていない曜日、時間帯においても、手話言語による窓口対応が可能となりました。

このオンライン通訳サービスは、手話言語のほか、英語、中国語及び韓国語など13か国の音声言語の通訳にも対応しております。

引き続き、手話言語を必要とする市民の方が、手話言語を使用しやすい環境づくりを進めてまいります。

次に、女性の健康週間におけるイベントについてですが、2月23日に、市民芸術小ホールで実施いたしました。当日は、明治安田生命保険相互会社のご協力で血管年齢測定とベジチェックを行い、96名が参加し、うち27名は健康相談につなが

りました。

また、大塚製薬株式会社のご協力で、産婦人科医の^{た か お}高尾^{み ほ}美穂先生による「女性の健康とホルモンの話」というテーマで講演会を行い、282名が参加いたしました。

今後も様々な形で健康まちづくりを推進してまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

幼稚園フェアについてですが、未就学児童の保護者に対して、各園の教育方針や取組の紹介を行い、入園に関する情報などを事前に提供することにより、保護者の幼児教育への理解と入園希望者の拡大を目的として、市内私立幼稚園、認定こども園が一堂に会して、5月18日に、くにたち未来共創拠点矢川プラスにおいて実施しました。

当日は、保護者や子供を合わせて121名の参加があり、各施設でパネルや端末を使った写真展示やパンフレットなどを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答えいただきました。

次に、生活環境部関係です。

第47回くにたちさくらフェスティバルについてですが、4月6日から7日にかけて谷保第三公園で開催されました。当日

は、はしご車やミニSLの試乗体験、各種団体による出店や企画のほか、特設舞台では歌やダンスなどが披露され、延べ約15,000人の来場者がありました。

次に、LINKくにたち2024についてですが、5月12日に大学通りでのスポーツ参加・体験イベントとして、3時間耐久リレーマラソンやわんぱく相撲、各種スポーツ体験コーナー等を実施しました。特設舞台では、市内の中学生・高校生・大学生などによる合唱、吹奏楽の演奏やダンスの披露なども行われました。

また、商工会青年部による市内商店の出店ゾーンなどもあり、市民の方はもとより、市外からも多くの方が訪れました。

次に、「国立市地球温暖化対策実行計画」についてですが、市民参加のワークショップ、パブリックコメント、環境審議会、建設環境委員会などでいただいたご意見を踏まえ、全市民協力のもと推進していく計画として策定しました。

ゼロカーボンシティの実現を見据えつつ、2030年度までに、2013年度比で60%以上の温室効果ガスの削減を目標としております。

市民、事業者の皆様と市が協働して効果的な取組を実行し

ていけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、消費者学習会についてですが、3月15日に市役所において、国立市消費者団体連絡会との共催で「ごみの分別について」をテーマに開催しました。当日は17名の市民が参加され、ごみの分別や回収されたごみのゆくえについて活発な意見交換がなされました。

次に、都市整備部関係です。

自転車乗車用ヘルメットの購入助成についてですが、6月5日から申請受付を開始しており、交付対象者には、順次助成券を送付いたします。

引き続き市民の皆様に安全な自転車利用を行っていただけるよう努めてまいります。

次に、国立駅南口駅前広場整備事業の駅前報告会についてですが、3月30日、31日に旧国立駅舎にて国立駅南口駅前広場整備に関するこれまでの検討経緯や基本設計の公募型プロポーザルの提案内容をパネルで紹介する駅前報告会を開催しました。パネルの展示と併せて「国立駅前広場でやりたいこと」にシールを貼っていただくアンケートも実施し、2日間

合わせて1,051名の参加がありました。

また、同日にはnonowa国立SOUTHのオープンに合わせて、東京都協力のもと「ヘブンアーティストIN国立」を実施するなど、国立駅前では多くのイベントが行われました。

次に、富士見台地域におけるまちづくりについてですが、国立富士見台団地自治会、UR都市機構、国立市で協議を重ね、団地居住者が自由に意見交換する場として、「団地の暮らしを語る座談会」を、4月21日、23日に開催しました。2日間で延べ56名の参加があり、団地の暮らしに関するより多くの意見を聞くことができました。

終わりに、本定例会には、令和6年度国立市一般会計補正予算案等12議案、報告事項4件を提出させていただいておりますが、定額減税補足給付金等に関する補正予算案につきましては、準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

令和6年（2024年）6月6日

国立市長 永見 理夫